

本の森

7月号

July

丹波篠山市立中央図書館通信 No. 191 2021年7月1日 発行

今月の特集

私たちは地球人 We live on the Earth

SDGs（持続可能な開発目標）という言葉も随分耳慣れしてきました。とは言え、何をどうすればいいのかモヤモヤしている人も多いはず。地球人の一人として、地球を守るということを考えれば、行動しやすくなるのかもしれません。

『宇宙に行くことは地球を知ること』

野口 聡一・矢野顕子 対談 光文社 538.9ノ



宇宙飛行士とミュージシャンという珍しい組み合わせの対談です。矢野氏は、SNS 上で自他ともに認める宇宙好き。矢野氏は手をたたいた反響で空間の大きさを感じることが出来るようで、無音、無重力の空間で、宇宙飛行士はどのように空間認識するのかという疑問をぶつけ、野口氏を驚かせます。

野口氏は、“一切の生を許さない宇宙空間の中で地球だけが命を内包し眩しい光を放ち悠々と宇宙をわたっている。その両者を隔てるのは薄くはかない大気の層。”と表現し、大気圏に守られている地球という惑星の存在がいかに神秘であるかを語っています。

大気圏で有害な波長が除去された太陽光があるからこそ色があり、重力があるからこそ平衡感覚が生まれます。水と空気存在、この当たり前が、はかないバリアでのみ守られている事実を目を向けていくことが、これからの地球人に課せられた課題なのでしょう。（小土井）





マークデザイン
加藤昌男

文学の棚から



『クララとお日さま』

カズオ イシグロ 著 早川書房 933.7

舞台は近未来。語り手はAI搭載の人型ロボット「クララ」。太陽の光から栄養を得ている彼女は、売れ残りの型落ちながらずば抜けた洞察力と高い共感力を備えている。彼女を購入したのは青白く痩せた少女ジョジー。クララは周囲の人々を観察しては複雑な感情を学び献身的に尽くすが、ジョジーの病状は悪化の一途をたどる。かつて同じ病^{やまい}で長女を亡くしたジョジーの母は、迷いつつも科学を頼りにある計画を進める。

AIの活躍が多様化するであろう近未来。本書は近未来における「お伽^{とき}ばなし^{はなし}話」です。読み手に様々な角度から問題提起をする本書。著者にとっては8作目の小説にあたり、ノーベル文学賞受賞後の第1作となります。装丁は故坂川栄治氏の娘であり弟子であった坂川朱音^{あかね}さん。本作品の映画化は既に決まっています。今秋には著者の来日も予定されています。（酒井）

『新版名作椅子の由来図典』

歴史の流れがひと目でわかる年表&系統図付き

西川栄明著 誠文堂新光社 758.02 二

一般書の棚から

古代エジプトのツタンカーメン王の玉座からロココ調の椅子、シェーカー家具やモダンデザインの椅子など、世界各地の椅子の特徴を解説している本書。あえて写真ではなくイラストにすることでより簡潔に特徴を伝えています。著者は10数年にわたり、木工の工房や家具のメーカー、大学、美術館、インテリアショップなど、世界各地をめぐり取材した経験があります。各方面の専門家との対談やコラムがあるのも、この本の魅力のひとつで、丹波篠山市在住のウィンザーチェアの作家小島優氏も登場されています。

時代や地域を越えて、椅子のデザインについて網羅した書物もめずらしく、増補改訂を重ね充実しています。分厚い本ですが、どこから読み始めてもたくさんの椅子に出会える1冊です。（栗田）



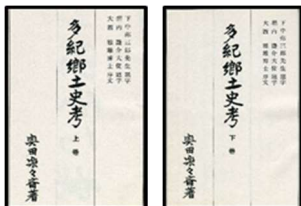
郷土資料の棚から

【たんばささやま「^{まめ}」知識】

このコーナーでは、丹波篠山にまつわる本を紹介します。

上巻には、多紀郡史の汎論^{はんろん}ともいえるべく全群の事績^{じじき}の後を、原始時代から明治時代まで年代順に配してあり、下巻には言い伝えや伝説^{こもんじょ}、古文書等を旧多紀郡の各町村単位で集約してあります。古文書に関しては「全部^うの鵜呑みにすると大変な間違いになる」と述べ、「つまらぬ様なものまでも書き加えた感のするものもある」など人柄が偲ばれる記述もあります。

丹波篠山についてのレファレンス（調査）がきたら“まずは『多紀郷土史考』をあたれ”と言われるほど丹波篠山の歴史を語るうえで外すことのできない基本となる資料です。（酒井）



「多紀郷土史考 上・下巻」
奥田 楽々斎 著
(郷土) B1/03/オ



映画上映会のお知らせ

入場無料
申し込み不要

「バックドラフト」
 1991年・アメリカ 137分・字幕
 ■監督 ロン・ハワード 監督
 ■出演 カート・ラッセル 他 出演
 ■日時 7月9日 (金) 14:00~16:20
 7月10日 (土) 15:00~17:20
 ■場所 中央図書館 視聴覚ホール

殉職した父の後を継いで消防士になる決意をしたブライアン。父の同僚と、今や消防中尉の兄スティーブンと大火災と戦う日々を送っていた。ある日、ブライアンは元恋人のジェニファーと再会し、彼女の上司に放火犯罪調査の仕事を勧められる。火災調査を進める中でブライアンは、2件の火災が殺人事件を目的とした同一犯の放火であることを突きとめる・・・。



図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
状況によりおはなし会・上映会等のイベントは行わない場合があります。				1 親子ふれあい スペース開放 (図書コーナー)	2 作品展(祥雲書の会) 7/2(金)~7/13(火)	3
4	5 休館日	6	7	8	9 映画上映会	10 映画上映会 丹波篠山だけ 図書館の日
11	12 休館日	13	14	15 親子ふれあい スペース開放 (図書コーナー)	16	17
18	19 休館日	20	21	22	23	24
25	26 休館日	27	28	29	30 平和の本コーナー(人権推進課) 7/30(金)~8/13(金)	31

Y onde M ite

よ ん で み て

『Yonde Mite』のコーナーでは利用者の方から寄せられたお勧めの一冊を掲載します



『約束の地 上・下』
バラク オバマ 著 312.53カ
2021.02 出版

2009年47歳でアメリカ合衆国大統領となったバラク・オバマ氏の回顧録。当時、副大統領だったバイデン氏の活躍も綴られている。

ペンネーム ルア



『ノマド
漂流する高齢労働者たち』
ジェシカ ブルーダー 著 361.857
2018.10 出版

今年のアカデミー賞の原作です。豊かな国アメリカの実情と行く末が、砂漠の中の白骨となることでしょうか。

ペンネーム 穂高 隆



『ゴリラ探検記』
河合 雅雄 著 489カ
198408 出版

河合先生の穏やかで、気品のある人柄が表れている作品です。

ペンネーム キャットのの



『最後の紫電改パイロット
不屈の空の男の空戦記録』
笠井 智一 著 B916カ
2020.11 出版

先の大戦で、予科練に志願した若い隊員は、純粋に国を守るため家族を守るためを思いながら若くして散華していった。尊いことです。その事があって今の繁栄と平和を私達は享受できているのです。

著者は丹波篠山市福住の出身です。

ペンネーム 神無月の案山子



『緑陰深きところ』
遠田 潤子 著 F14
2021.04 出版

兄を殺そう。兄に妻子を殺された弟の復讐旅行です。中古のコンテッサに載って大阪から九州日田までの感涙旅行です。

ペンネーム 穂高 隆



『約束の森』
沢木 冬吾 著 F14
2012.02 出版

ワインに、関心があってもなくても。最後の一行で号泣。

ペンネーム みみにゃん

『あなたの願いはなんですか』

七夕の季節がやってきました。今年も展示ホールに恒例の笹飾り用の竹を準備しました。是非、ソーシャルディスタンスを保ちつつ願い事を綴ってください。

期間：2021年7月1日(木)～8月7日(土)まで

※昨年は533件の願い事が飾られ、神社に奉納されました。



(2020年の様子)

■丹波篠山市立中央図書館(丹波篠山市西吹 88-1) TEL 079-590-1301/FAX 079-594-5450

ホームページ <https://www.city.tambasasayama.lg.jp/chuotoshokan/index.html>